

来年度事業について

栗東市建設部土木交通課

路線バスが本当に必要な人のために、路線バスという社会インフラの立て直しを図り、現状からの脱却を目指す。

令和 6 年度

令和 7 年度

令和 8 年度

令和 9 年度

① 運行ルート、運賃、ダイヤ等の見直しに行政が関与し、持続可能な公共交通の提供の確保を図る。

② 路線バスを軸として、鉄道や自転車とつながる移動環境とデマンド交通や公共ライドシェアなどの移動支援による地域公共交通ネットワークを構築する。

③ 最適な手法と運行事業者を取捨選択し、必要に応じて検証と改善を繰り返すことで、交通の需要変動に対する柔軟な対応と調整による持続可能な公共交通の運営を支援する。

業務委託内容について

	項 目	備 考
1	コミュニティバス等の利用実態データ分析	過年度フォローアップ調査結果等活用
2	路線再編検討	具体的なダイヤ・仕業等は運行事業者で作成
3	地域公共交通計画修正準備	
4	地域公共交通活性化協議会支援	2回程度
5	打合せ・関係者協議	
6	報告書作成	

現状と対策

路線バス事業

●運行エリア

- ・大津市エリア
石山駅・瀬田駅
- ・草津市エリア
南草津駅・草津駅（桐生）
- ・栗東市エリア
草津駅（栗東）

経営圧迫

- 利用者減少
 - ・生活様式の変化
 - ・社会情勢の変化（コロナ禍等）
- 物価上昇
 - ・燃料価格高騰
 - ・人件費上昇（運転手不足）

料金改定

- 令和7年度収支見込額
 - ・大津市路線 + 257,384千円
 - ・草津市路線 + 61,648千円
 - ・**栗東市路線 - 22,850千円**
改定前¥220～¥440
改定後¥260～¥460

運賃を値上げ
しても
栗東市路線は
収支が改善
されない

事業撤退・路線廃止

不調

栗東市に財政的支援を要望（R5.10、R6.2）

赤字補填

コミュニティバス化

関係機関協議（滋賀運輸支局、滋賀県交通戦略課、中央復建コンサルタント、帝産湖南交通(株)、栗東市）

大幅な減便&デマンドの導入

赤字補填

コミュニティバス化

行政の責務

利用者24万人/年の移動手段

地域公共交通の維持・確保・改善

令和7年度

さしあたって令和7年度は**赤字補填**をする

移動手段の検証や市内全路線網の再編の方針・考え方の整理

参考事例 移動手段の検証や路線網の再編の方針・考え方の整理

